

図書館に関する話題 第22回

展示コーナー、見てますか！？

情報サービスグループ係長 長谷川 友紀

◆新着図書展示コーナー

図書館に入ってカウンターの前を通り過ぎると見えてくる展示架。ここでまず足を止めていただきたい。1階には新着図書を展示していますが、何となく眺めているだけで、ふと目に留まり、読んでみようかな？と思う本があるはず。表紙のカバーが「手に取って」と言ってますか！？

図書館に来て、大学図書館の本って何で表紙のカバーを外してしまうんだろ？と思ったことはありませんか？（カバーを外してしまうのは決して当館だけではないはず・・・）カバーを外すと味気ない表紙になってしまいますよね。表紙カバーに惹かれて本を手にとること、ありますよね？その思いから、せめて新しく入ってきた本はカバーをつけたまま展示したいということで、1階に新着図書展示コーナーができました。

当館では、全国紙の新聞書評欄で紹介された図書や、各学部の教員から推薦された図書を購入していて、次から次へと新しい本が入ってくるので、ある程度時間が経ったものは（2～3ヶ月後）カバーを外して2階の開架図書へ移動します。「以前ここにあった本、どこにいったんですか？」と聞かれることがありますが、目当ての本がないな～と思ったら、OPACで検索して所在を確認してください。場所が移動していることがあります。

「新着図書って借りられますか？」と聞かれることもありますが、もちろん、借りることができます！その際はカバーを外して貸出手続きしてくださいね。



1F 新着図書展示コーナー

◆企画展示コーナー

階段を上がると2階にも展示架があります。ここは企画展示コーナーといって、新着図書ではなく、イベントに連動した展示を行っています。図書館のイベントであるPOPコンテストやブックハンティングの他、学内で開催される学術講演会に関連した展示も行っています。例えば、京都大学総長 山極壽一氏 学術講演会（2017年5月11日）、ノーベル化学賞受賞 白川英樹氏 学術講演会（2017年10月18日）、ノーベル物理学賞受賞 天野浩氏 学術講演会（2018年10月18日）に関連した展示を、講演会の日程に合わせて行いました。ご本人の著書が少ない場合は（自然科学分野の研究者は、雑誌への論文投稿がメインで、本はあまり出していないという方も多いので）、講演会のテーマに関連した本を集めてきて展示します。展示によって、こういう講演会を開催しますよと宣伝するとともに、講演を聴く前の予備知識として本を読んでおこうとか、講演を聴いて興味を持ったから本を読んでみようとか、

講演会に参加された方にも好評です。昨年はノーベル生理学・医学賞を本庶佑氏が受賞されたことを記念して、歴代のノーベル賞日本人受賞者の著作を集めた展示も行いました。



ノーベル賞日本人受賞者



山極壽一氏 学術講演会



留学ライブラリー

また、弘前大学留学ウィーク（2018年5月・11月）の一環として、留学ライブラリーの展示を行いました。これは留学関連の写真やコメント、パンフレット等を展示し、留学をオススメするものです。この他にも、英語多読本の展示や、図書館職員が選んだイチオシ本の展示など、多彩な展示を行っています。

この2階の企画展示コーナーでは、書庫の本を集めてきて展示することも多いのですが（そのため表紙カバーが無いものが多い）、普段は書庫の中に埋もれている本でも、展示コーナーに置くことによって、多くの人の目に触れて、借りられていくところが面白いです。POPと一緒に本を展示している時は、その棚が指定席

となりますので、その本が借りられた場合は「貸出中です」という札を置いています。こ

この札が多くなると「たくさん借りられてるな〜」と嬉しくなります。（実はこの札、カウンター職員の似顔絵になっていること、気付いてました!）



貸出中の札

展示に力を入れることにより、貸出状況も良好で、貸出冊数は前年度比 2.3%増と、増加傾向にあります。大学生の「読書時間ゼロ」が半数超えといった調査もありますので、息抜きのための読書でも良いので、ぜひ展示コーナーをご覧になり、本を手にとってください。たまたま手にしたその本が、あなたに大きな影響を与えるかもしれませんよ。

(はせがわ ゆき)